

# 人材育成方針（H21.5）

～社会をよりよく変える人材として成長するために～

	テーマ	プランA	プランB
1	仕事の問題意識	【他人のためにイヤイヤすること】 他人の視線・評価が気になり遠慮してしまう	【自分のためにやる必要があること】 自分の感じ方・おもしろさを大切にして、そこから出発する
2	自分のよさに対する態度	【消極的】 自分のよさ・強みがわかっていない。現状の天才に満足してしまっていて、伸ばそうとしない	【積極的】 自分のよさ・強みがわかっている。長所を更に磨くために、つねに努力・勉強している
3	他者とのコミュニケーション方法	【独り善がり】 自分の趣味・好みを、他人に押しつけて従わせようとする	【共感】 自分の趣味・好みのおもしろさを、他人に説明して共感してもらう
4	仕事の成果を評価するのは	上司	顧客
5	組織に期待すること	【現状維持】 今のままの自分を、組織が守ってくれること	【成長】 自己を成長させ、社会へ貢献できる人材となれるような、場を提供してくれること
6	仕事の課題はどこにあるか	【既往事項の繰り返し】 すでに誰かがやったこと・結果が出ていることを、無難に手堅く繰り返すこと（目先の成果に固執する）	【未知のおもしろさをつくりだす】 誰もしていないような新しい課題を発見して、リスクをおそれず挑戦すること（長期的に成果を考えている）
7	時間への態度	【過去の実績にこだわる】 学校の成績や学歴を気にする 組織での肩書や地位で人を好き嫌する	【新しい未来を描こうとする】 常に新しい課題に挑戦している 他組織の人と一緒に仕事してネットワークを広げる
8	困難な状況への態度	【安定】 厄介・面倒なことはできるだけ避けたい。リスクのないことだけやって無難に過ごしたい（失敗＝悪であり、他のメリットを犠牲にしても絶対に失敗しない選択肢を選ぶ）	【挑戦】 より困難な課題に全力を出して向かうことが、自己成長できる絶好のチャンスだと考えている（挑戦の結果失敗することは、多ければ多いほど、高く評価する）
9	限界に直面したとき	【天才の個人芸】 能力を過信して、なかなか限界を認めない。自分ができることだけやって満足する →他者をお願いして手伝ってもらうことができない	【衆知のネットワーク】 日ごろから他者と協力・役割分担しながら仕事を進める。自分でできないことや失敗に気づいたら、すぐに他者に意見・助け・アドバイスを頼める素直さがある
10	社会の中の自分の役割	【サービスの消費者】 自分だけの利益追求のために、他人が用意したサービスを利用する。不平・不満がある時だけ、一方的にクレームをつけて、改善策・代替案を提案しないし、他者の意見や助言を聞こうとしない	【サービスの供給者】 困っている人・状況のために、自分がサービスを考え提供・問題解決する。自分なりに改善策・代替案を考えて、またそれを他者へ伝え理解してもらうためつねにコミュニケーションしている